

予選会における勝ち上がり枠の考え方(整理案)

1. 背景・現状整理

- 予選会ごとの勝ち上がり人数(枠数)については、「各地域に差が出ないよう均等に割り付ける」という基本的な考え方はすでに整理されている。
- 一方で、地域ごとの参加人数に大きなばらつきがあり、特に東北・北海道など一部地域では、想定した枠数が成立しないケースが見込まれる。
- 現在は、均等割り付けを前提としつつ、参加人数が成立しない場合の調整ルールについて最終的な整理・承認が必要な段階である。

2. 基本方針

- 基本形は各地域への均等割り付け
- これは原則として維持する。
- ただし、以下のようの場合に限り、例外的に枠の調整(譲渡・消滅)を行う。

3. 枠数の基本的な考え方

参加人数に応じて、各地域の枠数を以下の基準で設定する。

参加人数	枠数
0人	0枠
1~5人	1枠
6人以上	2枠

- 最低1名でも参加があれば、1枠は必ず付与
- 2枠目については、3人×2プール(計6人)が成立することを条件とする

4. 枠の譲渡が発生するケース

① 参加人数が0人の場合

- 当該地域の枠は他地域へ譲渡する。

② 2枠が成立しない場合

- 参加人数が6人未満の地域については、
2枠目を他地域へ譲渡する。

5. 枠の譲渡を受けられる地域の条件

- 最低条件
 - 参加人数が6人以上いること
(プール戦が成立しない地域には譲渡しない)
- 追加枠付与の目安
 - 参加人数が16人以上(4人×4プール)が成立する地域は、
追加枠付与の対象とする。
- 16人以上の地域が存在しない場合は、
参加人数が多い地域へ枠を付与
- いずれの地域も最低条件を満たさない場合は、
当該枠は消滅とする。

6. 枠の譲渡先を決定する優先順位

枠の譲渡先は、以下の順で判断する。

1. ブロック予選の参加人数が多い地域
2. 前年度日本選手権本戦において、成績上位者が多い地域

※ 参加実態と競技力の両面を考慮する。

7. 将来を見据えた考え方(参考案)

- 各地域において、3年単位で競技人口の増加が見込めるよう選手発掘を行う
- 規定人数に達しない状態が継続した場合には、当該地域の枠を他地域へ移すことを検討する。
- 目的はペナルティではなく、地域格差の是正と競技全体の底上げである。

8. まとめ

- 原則は均等割り付け
- 例外は参加人数が成立しない場合のみ
- 事前に基準を明文化することで、
運用時の混乱や不公平感を防ぐ

